

## 国際版画美術館が開館25周年を迎えます

～ 4月14日から春の特別展を開催 ～

国際版画美術館は1987年4月19日に開館し、今年25周年を迎えます。

2012年度は開館25周年を記念し、多彩な企画展とバラエティに富んだイベントやキャンペーンを実施します。



### ■ ロゴマーク

開館25周年を市内外に広くアピールするためロゴマークを制作しました。2と5の文字のクルリと丸くなった部分は、版画を作る時に使う道具であるローラーやプレス機のイメージです。また薄いサーモンピンクは美術館の外壁を、青緑の色は美術館の銅葺き屋根の緑青（ろくしょう）の色をあらわしています。

### ■ 記念事業—春・秋の特別展

事業展開としては、春と秋に特に重点を置き、周年事業にふさわしく特別な内容の記念展を開催します。

#### 春の「版画の冒険——ミレー、ドガそしてムンクへ」展

日本国内には収蔵されていない貴重な作品をフランスより借用するほか、国内の美術館の協力も得て、誰もが知っている美術家たちの作品を展覧します。

※ 春の特別展の詳細は3頁をご覧ください。



ゴーギャン「マナオ・トウパパウ(彼女は死霊のことを考えている)」  
1893-94年 当館蔵



葛飾北斎『富嶽三十六景』より「山下白雨」1831-33(天保2-4)年頃  
山口県立萩美術館・浦上記念館蔵(前期出品)

#### 秋の「北斎と広重——きそいあう江戸の風景」展

<版画といえば浮世絵>というイメージどおり、人気の高い浮世絵の世界から、なかでも抜きん出て親しまれている二大浮世絵師、北斎と広重を取り上げます。

どちらの展覧会も、当館の収集作品を十二分に生かすとともに、他の美術館や諸機関のご協力により、通常では出品の難しい作品を特別に出品していただいています。四半世紀のあいだ愛され続けてきた国際版画美術館は、市民の皆さまの大切な財産である貴重な美術品を数多く収蔵し、この文化遺産を未来へと伝えてゆく役割を果たしていることを、多くの皆さんに再認識していただき、今後の更なる発展につなげたいと考えています。

## ■ その他の展示

春・秋以外の展覧会や、常設展示室のミニ企画でも、当館の収蔵品の実力を堪能できる内容を用意します。

## ■ キャンペーン・イベント

25周年にちなんだ（仮称）2525＝「にこにこ」キャンペーンや、当館ならではの版画の摺り体験イベント、記念コンサートなど、盛りだくさんに展開します。

## ■ 2012年度の展覧会スケジュール（企画展示室・常設展示室）

### 【企画展示室】

4月14日（土）～ 6月17日（日）	開館25周年記念 版画の冒険 ミレー、ドガそしてムンクへ
6月23日（月）～ 7月29日（日）	版画家群像 大正・昭和のベスト・セレクション
8月4日（土）～ 9月23日（日）	After the War－隆盛する戦後の欧米版画
10月6日（土）～ 11月25日（日） 前期:10月6日～10月28日 後期:10月30日～11月25日	開館25周年記念 北斎と広重 きそいあう江戸の風景
12月1日（土）～ 12月16日（日）	版画の彩展2012年3月15日 第37回 全国大学版画展 ※入場無料
1月5日（土）～ 2月17日（日）	Present for You－新収蔵作品展 ※入場無料
1月11日（金）～ 2月17日（日）	第26回 町田市公立小中学校作品展 ※入場無料
3月9日（土）～ 4月7日（日）	Machida Connection 町田ゆかりの作家展

### 【常設展示室】

4月4日（水）～ 6月17日（日）	第1期 家族の肖像－絆をみつめて
6月20日（水）～ 9月23日（日）	第2期 シリーズ＜現代の作家＞ 丹阿弥丹波子 光と闇に咲く豊穡の花
9月26日（水）～ 12月24日（月・祝）	第3期 ヨーロッパの風景
1月5日（土）～ 4月7日（日）	第4期 シリーズ＜現代の作家＞ 山の大きさ、山の深さ 畦地梅太郎の世界

※ 各種催しの詳細は随時情報提供をさせていただきます。

## ■ 春の特別展

開館25周年記念

「版画の冒険 ミレー、ドガそしてムンクへ」展

Peintre-graveur : Adventures in Graphic Arts in 19th Century

19世紀後半のヨーロッパ。写真の登場や印刷技術の飛躍的な発展などのために、版画は大きな岐路に立たされました。消えていくのか、美術表現の一つとして自立するのか。版画の生き残りをかけたさまざまな挑戦が開始されます。そこで大きな役割を果たしたのが、自由な発想で版画を制

作したミレーやピサロ、ドガやルドンなどの画家たちでした。そして、彼ら「画家にして版画家 peintre-graveur」の仕事によって、版画は美術表現としての道が切り開かれ、新しい時代に適応していくことになります。

本展覧会は、版画が生まれ変わるこの過程を3部構成で紹介します。出品作品は国内とフランスの機関が所蔵する優れた版画と、関連する油彩や水彩等をあわせた約200点。画家たちの個性的な試みを追いながら、彼らが版画のどこに存在理由を見出していったのかを考え、同時に版画の魅力を発見していただければと思います。

- ・ 会 期 2012年4月14日(土)～6月17日(日)  
月曜休館、ただし4月30日(祝)は開館、5月1日(火)は休館
- ・ 観覧時間 平日：午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)  
土・日・祝日：午前10時～午後5時30分(入館は5時まで)
- ・ 観覧料 一般1,000(800)円/大高生 500(400)円  
65歳以上500(400)円/中学生以下は無料  
※ ( )内は20名以上の団体料金です。  
\* 展覧会初日の4月14日(土)、開館記念日の4月19日(木)は入場無料  
\* 身体障がい者手帳または愛の手帳等をお持ちの方と付き添いの方1名は半額
- ・ 会 場 町田市立国際版画美術館(原町田4-28-1)
- ・ 後 援 等 後援：フランス大使館/特別協力：フランス国立美術史研究所、フランス国立図書館/協力：アンドレ・シュニユ、小田急電鉄株式会社、カトーレック株式会社、日本航空株式会社



エドヴァルド・ムンク(1863-1944)  
「マドンナ」1895/1902年  
多色刷リトグラフ 大原美術館蔵

## ■ 第Ⅰ部 広めるための版画

版画の本来の機能である「画像の複数化」という点に注目し、イメージを広める手段として版画を制作した画家たちの作品を紹介します。

1. 19世紀の複製版画—ミレーを中心に
2. すぐれた芸術をすべての人に—腐蝕銅版画家協会の活動

ジャン＝フランソワ・ミレー(1814-1875)  
「バター作りの女」1855年 エッチング  
横浜美術館蔵



## ■ 第Ⅱ部 芸術的な刷りへの挑戦



同じ仕上がりの版画を何枚も制作することよりも、一枚に最高の仕上がりを求めて版画の刷りに細心の注意を払ったホイッスラーやビュオなどの作品を展示します。

フェリックス・ビュオ(1847-1898)  
「ウエストミンスター宮殿」  
1884年 エッチング、ドライポイント  
町田市立国際版画美術館蔵



## ■ 第Ⅲ部 画家たちの実験

常識にしばられない自由な発想で制作された画家たちの版画を展示します。

オディロン・ルドン(1840-1916)  
「ペガサスにのるミューズ」1904-1910年 油彩  
群馬県立近代美術館蔵

## <関連イベント>

- ◇ 講演会〔手話通訳付〕(無料 企画展観覧者が対象) \*会場：美術館講堂
  - ① 太田治子氏(作家) 5月5日(土・祝)  
「版画のなかの人生」
  - ② 田島直樹氏(筑波大学准教授) 5月27日(日)  
「19世紀の銅版画にみる刷りの効果について」

※ いずれの講演会も、午後1時30分～3時です。
- ◇ アート・キューブでわくわく美術探検！(事前申込制)  
福島で開発された美術鑑賞サポート・ツール「アート・キューブ」を使った子ども向けワークショップです。ゲーム感覚で楽しく展示室を見て回ります。  
4月29日(日)、30日(月・祝) いずれも午後1時30分～3時  
※ 詳細は後日美術館公式サイトでお知らせします。
- ◇ プロムナード・コンサート \*会場：美術館エントランスホール
  - 6月2日(土) 演奏：石平彩香(ピアノ)、小形響(バイオリン)
  - 6月9日(土) 演奏：石平彩香(ピアノ)

※ 各日とも午後1時と3時の2回、約30分程度の演奏です。どなたでもお聴きになれます。
- ◇ 学芸員によるスライドレクチャー(無料) \*会場：美術館講堂
  - 5月6日(日)、13日(日)、20日(日)

※ いずれの日も午後2時から1時間程度です。
- ◇ 館長によるスペシャル・ギャラリートーク(観覧券が必要)  
5月19日(土) 午後2時から1時間程度です。
- ◇ 学芸員によるギャラリートーク  
4月22日(日)、6月10日(日)の午後2時から1時間程度